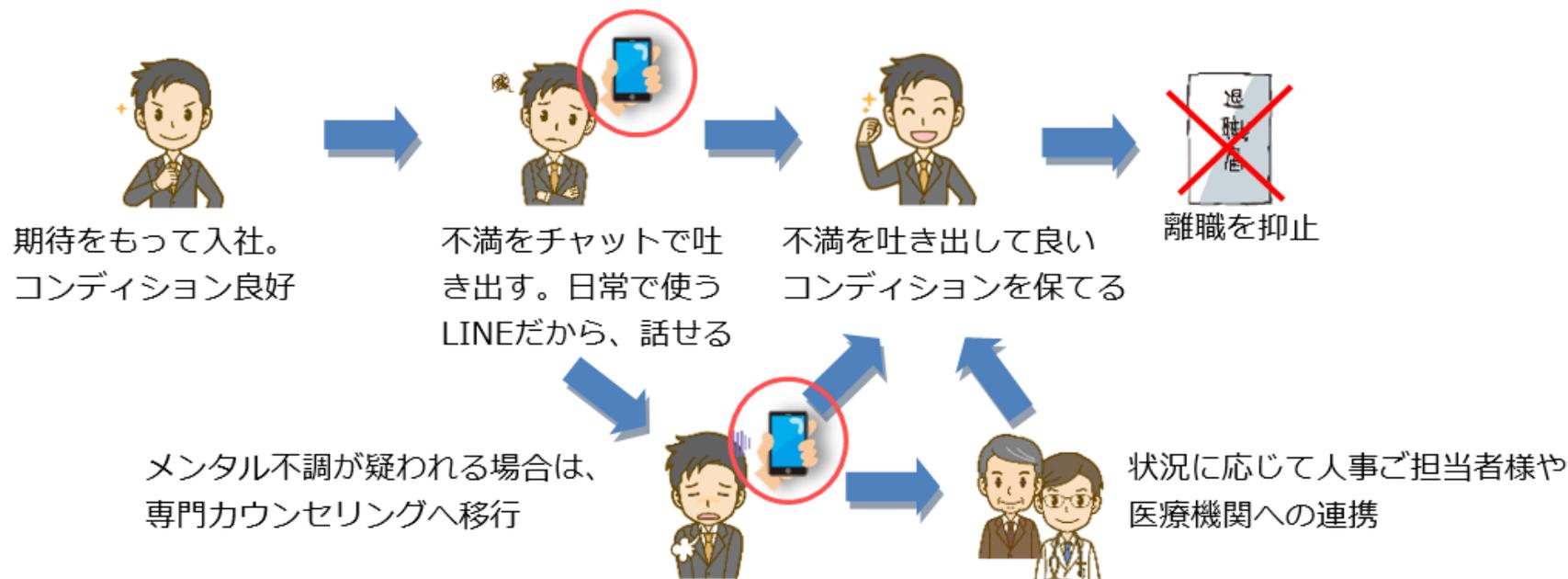


日常で使うLINE。だから、話せる。 若手の離職抑止に特化したチャット相談サービス

- ✓ 相談員と利用者の「つながり」を重視。利用者一人ひとりに相談員から声掛け
- ✓ 敷居が高く感じてしまいがちな「相談」ではなく、気楽な「雑談」によるコミュニケーションの促進
- ✓ サービスの「中の人」は心理カウンセラー。状況に応じて心理相談に移行

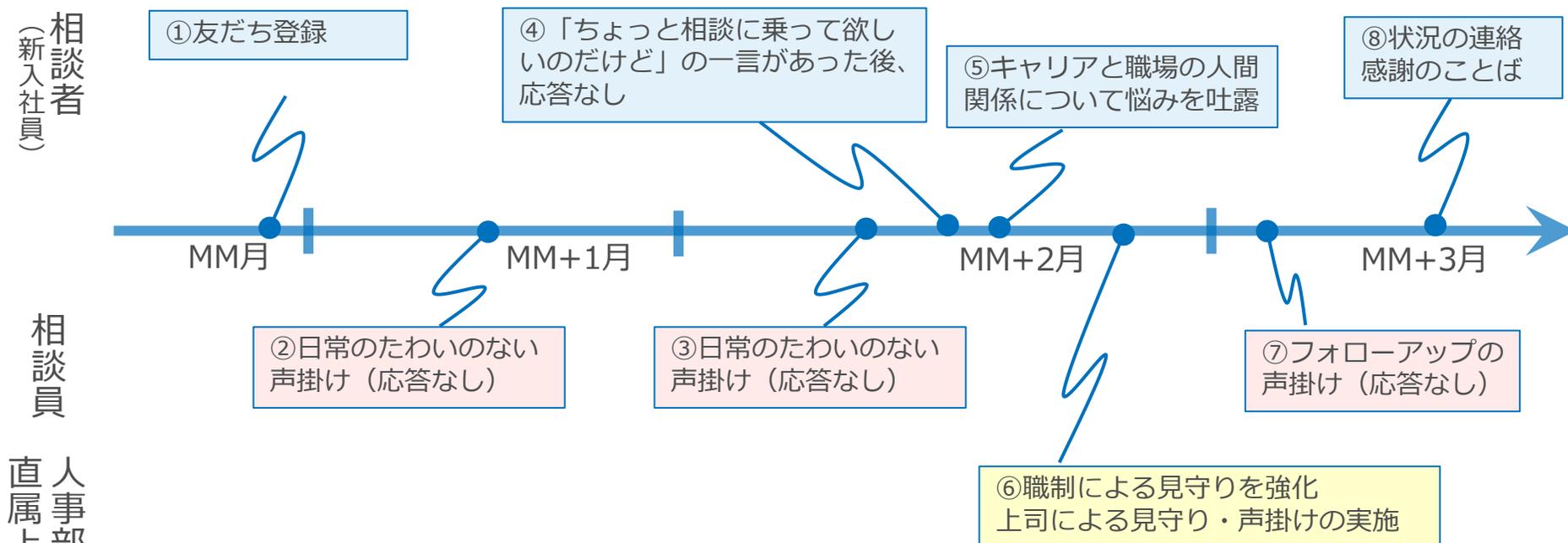


LINE相談によって早期離職の抑止につながった事例

- ①～③ 相談者が話しやすいよう、相談員からの声掛けを繰り返し実施
- ④ 相談したい気持ちの表明（相談は不成立）
- ⑤ キャリアと職場の人間関係に悩み、退職も考えている悩みを吐露
- ⑥ 相談員と人事部門との連携。直属の上司による見守りや声掛けを実施
- ⑦ 相談員からフォローアップの声かけ
- ⑧ 仕事を続ける意思表示と「上司のおかげでなんとかなった」「感謝します！」の報告

カウンセラーからの
たわいない声掛けから、
悩みの吐露に繋がった

早期に対応したため、
離職を防げた



※個人情報が含まれているため、複写（コピー、写真撮影等）は
ご遠慮頂いております。

スマホを活用した次世代EAP「コンディション・サポート・プログラム（CSP）」

動画配信サービスを用いて、いつでも必要なときに、メンタルヘルスケアやリラクゼーション、コミュニケーション、感情マネジメント等の教育コンテンツで学べます。 

ビジネスチャットやビデオ会議システムを用いて、遠隔地からの集合研修や個別研修を実施します。     

ビジネスチャットやビデオ会議システム、オンラインサロンを用いて、自組織に最適なコンディション・サポート・プログラム推進体制の構築に向けて専門コンサルタントがサポートいたします。



教育

コンケアやオンラインアンケートを用いて、従業員や児童・生徒のコンディションを定期的に把握し、不調者に早期のフォローアップを行います。また、ハラスメントやいじめの通報もスマホからウ受け付けて、早期解決に繋がります。



見守り

スマホで繋がる
次世代EAP

ビジネスチャットやビデオ会議システムを用いて、遠隔地から復職・復学支援プログラムを提供します。



コンケアやオンラインアンケートを用いて、休職・休学中のコンディションを把握して早期のフォローアップに繋がります。  

動画配信サービスを用いて、セルフケアの動画コンテンツを視聴したり、SNSアプリやビジネスチャット、ビデオ会議システムを用いていてカウンセラーと相談を行い、早期の復帰をサポートします。



復職
復学

相談

SNSアプリやビジネスチャット、ビデオ会議システムを用いて、いつでも相談したいとき気軽に相談できる体制を提供いたします。



見守りで発見した不調者には、SNSアプリやビジネスチャットを使って従来の相談窓口には無かったカウンセラーからの声がけも可能です。



※電話・スマートフォンへの接触時間は1日平均100分以上（2013年の倍）にもなっています。

出典：博報堂DYメディアパートナーズ「メディア定点調査2018」

※動画サイトの利用時間は5年間で2倍に増え、特に20代以下ではSNSと動画サイト利用時間が飛躍的に伸びています。 出典：総務省「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告」2017年